

令和 7 年度モニタリングシート

【施設名等】

施 設 名	大洲市立肱川風の博物館・歌麿館	位 置	大洲市肱川町予子林99番地1
	鹿鳴園等体験交流施設		
指定管理者名	有限会社 ひじかわ特産開発	所管課	肱川支所 Tel:0893-34-2311

【施設の概要】

設 置 年 月 日	風の博物館 平成 6年3月	構 造	鉄筋3階地下1階、風のり広場
	歌麿館 平成14年3月		鉄筋平屋建て
設 置 目 的	大洲市の観光中核施設として、地域と密着し保全振興に努める。		
施 設 機 能	風の博物館展示室・大ホール・会議室・歌麿館展示室		
利 用 料 金 等	入館料 大人:500円 高校生:250円 小中生:200円 5歳以下、身体障害者手帳、療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者又は市内に住所を有する65歳以上の者:無料		
	大ホール利用料	1時間:600円	
	会議室	1時間:100円	
開 館 ・ 閉 館	毎週火曜日及び年末年始		
指 定 管 理 業 務 内 容	①施設利用者の施設又は設備の利用の許可に関する業務 ②施設の維持管理に関する業務 ③施設の入館及び利用に係る料金の収受に関する業務 ④施設の設置目的を発揮するための事業に関する業務		
施 設 管 理 体 制	有限会社ひじかわ特産開発職員(正社員3名)		

【施設の利用者数】風の博物館及び歌麿館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R7 年度	542人	448人	480人	609人	563人	450人	511人
R6 年度	474人	243人	324人	229人	92人	159人	332人
比 較	68人	205人	156人	380人	471人	291人	179人
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R7 年度	402人	408人	143人	198人	289人	5,043人	
R6 年度	253人	207人	211人	236人	291人	3,051人	
比 較	149人	201人	▲68人	▲38人	▲2人	1,992人	

【施設の概要】

設 置 年 月 日	鹿鳴園等体験交流施設 昭和63年3月	構 造	望湖荘	木造2階建て
			ビジターハウス	鉄筋コンクリート2階建て
			ケビン	木造平屋建て
			テニスコート	全天候型
			他公園施設	
設 置 目 的	地域のコミュニティづくりと都市住民との交流によって、活気あるまちづくりを図るための施設とする。			
施 設 機 能	宿泊	望湖荘	40名	
		ケビン(5棟)	28名	
	スポーツ施設	テニスコート	5面	
利 用 料 金 等	望湖荘	28,000円～(10名以上)		
	ケビン	11,000円(4人棟)		
		20,000円(8人棟)		
	テニスコート	350円		
開 館 ・ 閉 館	年中無休			
指 定 管 理 業 務 内 容	①施設利用者の施設又は設備の利用の許可に関する業務 ②施設の維持管理に関する業務 ③施設の利用に係る料金の収受に関する業務 ④施設の設置目的を発揮するための事業に関する業務			
施 設 管 理 体 制	有限会社ひじかわ特産開発職員(正社員2名、パート3名)			

【施設利用者数】鹿鳴園等体験交流施設

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R7 年度	597 人	462 人	243 人	309 人	375 人	522 人	439 人
R6 年度	391 人	478 人	310 人	476 人	443 人	506 人	340 人
比 較	206 人	▲16 人	▲67 人	▲167 人	▲68 人	16 人	99 人
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R7 年度	446 人	163 人	111 人	95 人	315 人	4,077 人	
R6 年度	413 人	164 人	157 人	108 人	472 人	4,258 人	
比 較	33 人	▲1 人	▲46 人	▲13 人	▲157 人	▲181 人	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
風の博物館・歌麿館売上高	1,426,316 円	人件費	18,530,565円
鹿鳴園売上高	2,952,110 円	水道光熱費	6,798,915円
歌麿カフェ売上高	604,485 円	修繕費	825,940円
指定管理料	28,380,000円	保守管理委託料	2,390,598円
雑収入	1,365,078 円	その他経費	6,597,416円
棚卸し	1,049,862 円	仕入高	138,045円
	円	期首棚卸し	651,572円
		法人税等	40,700円
合 計	35,777,851円	合 計	35,973,751円

【サービス向上に向けた取り組み】風の博物館及び歌麿館

R7 年度	① 夏休み企画「ひじかわの木を楽しむ展」を開催・・・開催期間:7月12 日～8 月 31日 来館者数:908名 ② 企画展「末廣吉成蔵書票展」を開催・・・開催期間:9月13 日～11月 24 日 来館者数:856 名 ③ 企画展「日々を彩る野鳥展」冬の部を開催・・・開催期間:12月13日～3月1日 来館者数:386 名 ④ 歌麿カフェの営業 ⑤ 接遇研修の実施、風の博物館機関紙「風のたより」発行、富山県福光美術館との協力
R6 年度	① 夏休み企画「肱川の植物展」を開催・・・開催期間:7月13日～9月1日 来館者数:128名 ② 企画展「田中秀穎作品展」を開催・・・開催期間:9月14日～11月17日 来館者数:382名 ③ 開館30周年記念マルシェの開催 来館者数:約800名 ④ 歌麿カフェの営業、おむつ替え、授乳スペースの設置 ⑤ 接遇研修の実施、風の博物館機関紙「風のたより」発行、富山県福光美術館との協力

【サービス向上に向けた取り組み】鹿鳴園等体験交流施設

R7 年度	① 第 9 回おしどり湖テニス大会の開催 参加者数:23 ペア、46 名 ② ケビン「つばき」リビングへのエアコン増設 ③ こたつ入れ替え(望湖荘) ④ SNS Instagram、FB、 X(旧 Twitter)での情報発信
R6 年度	① 第8回おしどり湖テニス大会の開催 参加者数:27ペア、54名 ② テニス合宿の誘致活動 ③ 宿泊利用者向け洗濯機の追加設置 ④ SNS X(旧 Twitter)での情報発信開始

【利用者から要望と対応状況】風の博物館及び歌麿館

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
写真撮影禁止となっているが、今時なので撮影自由にしてほしい	作品保護、著作権の侵害防止、他の鑑賞者への配慮のためであり、これらの問題がない状況・状態であれば撮影可としている旨を説明
モルックの説明がもっと詳しく書いてあればよかった(ひじかわの木を楽しむ展)	壁面に説明を表示することで対応
企画展等、告知の範囲を広げてほしい	告知の方法として、タウン情報誌・フリーペーパーへの掲載及び報道各社へのプレスリリースを実施している旨を説明
受付に誰もおらず、お礼が言えなかった	来客時には可能な限りフロントに出ることを徹底した

【利用者から要望と対応状況】鹿鳴園等体験交流施設

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
ケビン周辺の蔦は取り除くべき	即時対応を行った
カセットコンロ燃料の予備がなかった	消耗品等の在庫確認及び補充を徹底した
シャワーの温度調整がしづらい	設備の特性上、操作方法が分かりにくい面があるため、受付時に使用方法を丁寧に説明することで対応

【指定管理者の自己検証】風の博物館及び歌麿館

今期はNHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」放送開始による影響のほか、夏休み期間と時期を合わせた「ひじかわの木を楽しむ展」がお子様連れにぴったりの体験型企画であったことから、風の博物館・歌麿館を訪れる方が増加した。他の企画展も好評であり、最終的な施設全体の利用者数は令和6年度の3,051人から5,043人、約65.2%の大幅増加となった。

【指定管理者の自己検証】鹿鳴園等体験交流施設

宿泊部門における団体利用の増加により、宿泊者数は令和6年度の857人から874人と約1.9%の増加となっている。しかしながら、令和5年度の利用状況とはほど遠く、伸び悩みが見られる状況である。 一方、テニスコートの利用者数は令和6年度の3,165人から3,054人と約3.5%の減少となった。最終的な令和7年度の鹿鳴園等体験交流施設の利用者数は令和6年度の4,258人から4,077人と約4.2%の減少となった。

【施設所管課の検証・評価】

法定点検や報告など、施設管理については概ね良好であり、仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。 今年度は、NHK大河ドラマの放送開始による影響もあり、施設利用者数は昨年度と比較し大幅な増加となった。施設運営において外的要因は運営の安定やサービス継続に大きな影響を与えるため、利用者増加に繋がる機会を逃さぬよう、情報収集・施設運営に努めていただきたい。 宿泊施設の利用者は微増であるが、伸び悩みも見られる状況である。自然環境を楽しむ目的での需要が一定数あると考えられるため、利用者の意向・動向などを分析し、施設利用の促進に向けた対策をどのように進めていくかが課題である。
